

2025年4月入学〔第2回募集〕 広島市立大学大学院 情報科学研究科博士前期課程 学生募集要項

一般入試

社会人特別入試

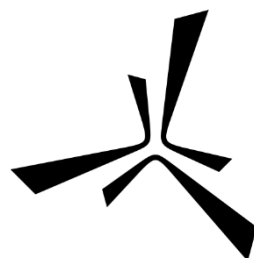
【本学所定様式】

(以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。)

[A票] 入学志願票

[B票] 履歴票

[C票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：2024年10月

情報科学研究科(博士前期課程)の概要

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科では次のような人を求めています。

- ・ 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人
- ・ 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人
- ・ 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人

2 専攻の概要

本研究科は情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、医用情報科学専攻の4専攻からなり、次のような能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身につけた人材を養成します。

- ・ コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータとネットワークを創成する能力
- ・ 知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し、それをシステム化する能力
- ・ 人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力
- ・ 様々な分野間の研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力
- ・ 自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力

授業科目は、「情報工学専攻」ではコンピュータハードウェア分野、コンピュータシステム分野、コンピュータネットワーク分野、コミュニケーション基盤分野、「知能工学専攻」では知能ソフトウェア分野、知能メディア分野、知能サイエンス分野、「システム工学専攻」では人間・ロボット共生分野、インターフェースデザイン分野、「医用情報科学専攻」では、情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野において、科学技術の高度化と多様化に対応できるよう基礎から応用までの学識、技術の体系を修得できるように開設しています。

3 授与する学位の種類

博士前期課程では、修士論文の内容により、「修士(情報科学)」または「修士(情報工学)」のいずれかになります。

4 修業年限

博士前期課程の修業年限は2年間とします。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

5 長期履修学生制度

博士前期課程の修業年限は上記のとおり2年間ですが、入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合は、修業年限を延長して入学時から3年間または4年間で計画的に教育課程を履修することができるようになります。この場合、正規の修業年限である2年間分の授業料を、3年間または4年間で納入することとなるため、「長期履修学生」となったことによって納入すべき授業料の総額が増加することはありません。

「長期履修学生」の申請ができるのは、原則として社会人特別入試により入学した者に限ります。

I 入学者選抜要項

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員	
			一般入試	社会人特別入試
情報科学研究科	情報工学専攻	23名	13名	若干名
	知能工学専攻	23名	13名	若干名
	システム工学専攻	23名	13名	若干名
	医用情報科学専攻	15名	8名	若干名
	計	84名	47名	若干名

※ 募集人員は、情報科学研究科博士前期課程第1回募集との合計人数です。

※ 社会人特別入試の募集人員「若干名」は一般入試の募集人員に含みます。

2 出願資格

(1) 一般入試

次の①～⑫のいずれかに該当する者（①～⑧、⑫については、2025年3月31日までに該当する見込みの者を含む）、なおかつ⑩に該当する者

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条の大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者〔※1〕
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けた者において課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による。）
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑩ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに22歳に達しているもの
- ⑪ 学校教育法第83条の大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本学大学院が定める単位を優れた成績をもって修得したものと認める者〔※2〕
- ⑫ 2022年8月1日以降に実施された本学の指定する英語外部検定試験のスコアを証明する書類を出願時に提出できる者

〔※1〕 本学では、中華人民共和国の「高等教育自学考试」は学校教育における16年の課程に含めません。出願資格⑩により、必ず4ページ「(3)事前審査」で認定を受けてください。

〔※2〕 出願資格⑪により入学試験に合格した場合は、所属大学を大学3年次修了時点で退学し、大学院へ進学することになり、所属大学から学士の学位は与えられません。そのため、各種国家試験等の

受験資格が得られないことがあります。

ただし、一定の要件を満たした場合、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査を受け合格することにより、「学士」の学位を取得することが可能です。詳細は、同機構のウェブサイト (<https://www.niad.ac.jp/>) をご確認ください。

(2) 社会人特別入試

一般入試の出願資格①～⑩のいずれかに該当し、教育機関または研究機関・官公庁・企業等において、2025年3月31日時点で通算して2年以上の勤務経験を有する者

(3) 事前審査

3ページ⑨～⑪の資格により出願しようとする者は、出願資格認定のため事前審査を行います。

必ず本学アドミッションセンターへ申し出たうえで、下記の必要書類を期限までに提出してください。

なお、郵送の場合は、郵送期間を十分考慮のうえ、**書留速達郵便**とし、封筒表面に「**情報科学研究科事前審査申請書類**」と赤字で記載してください。

【**必要書類**】事前審査申請書（本学所定の様式）、指導教員またはこれに準ずる者の推薦書（本学所定の様式）、成績証明書、在学する大学の履修基準・授業科目表等

※ 出願資格により提出する書類が異なりますので、事前に本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。また所定の様式は申し出により交付します。

【**提出期限**】2024年11月29日（金）午後5時必着

ア 事前審査の結果は、2024年12月18日（水）までに本人宛に郵送により通知します。

イ 事前審査の結果、出願資格の認定を受けた者は、本募集要項により出願手続を行ってください。

ウ 出願資格⑪により出願を希望する者は、次の要件を満たす必要があります。

- ① 3年次までに共通教育科目（教養科目）の卒業要件単位を修得見込みであること。
- ② 3年次までに開講された学部教育科目（専門科目）の必修科目の単位を修得見込みであること。
- ③ 3年次までに修得見込みの単位数が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。
- ④ 広島市立大学情報科学部イノベーション人材育成プログラムに参加し、プログラム指定科目について優秀な成績を収めていること。または、在籍大学で3年次前期までに修得した卒業要件単位の8割以上が、100点満点評価における80点以上に相当する評価であること。

(注) 1 入学試験に合格しても入学の許可を受けるためには、2025年3月31日までに次の要件を満たしている必要があります。ただし、早期卒業制度により大学の卒業証明書を提出できる場合はこの限りではありません。

- ① 3年次までに修得した単位数が、卒業要件単位数から4年次に開講される必修科目の単位数を除いた単位数以上であること。
 - ② 広島市立大学情報科学部イノベーション人材育成プログラムを大学入学後（休学期間を除く）3年間で修了していること。または、在籍大学で3年次までに修得した卒業要件単位の8割以上が、100点満点評価における80点以上に相当する評価であること。
- 2 入学試験に合格となった者は前項1に示した要件①、②を証明するための成績証明書（出身大学（学部）長等が作成したもの）等を、2025年3月15日（土）までに提出してください。期日までに提出が難しい場合は事前に本学アドミッションセンターに申し出てください。

3 出願手続

出願する前に、本募集要項等を参照のうえ、5ページ「(3)出願先」を通じて、あるいは直接、**指導を希望する教員に研究内容等について問い合わせを含む事前相談を必ず行ってください。第2志望についても同様です。**

「(3)出願先」を通じて事前相談を行う場合は、本学アドミッションセンター (nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp) 宛に次の事項を送ってください。

件名：情報科学研究科（博士前期課程）入学試験事前相談

本文：志願者氏名、在籍（出身）大学、指導希望教員名

【**事前相談受付期限**】2024年12月11日（水）

期限後に事前相談を希望される場合は、アドミッションセンターへご相談ください。

(1) 出願期間

2024年12月18日(水)から12月24日(火)午後5時まで

郵送による出願書類の提出については、出願期限前日の2024年12月23日(月)までの消印がある書留速達に限り、期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

海外から送付する場合は、Express Mail Service (EMS) や DHL 等の追跡サービスのある方法で送付されることを推奨します。

出願締切後、受験番号を通知します。2025年1月31日(金)までに受験番号の通知が届かない場合は、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

(2) 出願方法

出願書類等を一括して角形2号の封筒に入れ、郵送または持参の方法により、出願期間内に本学アドミッションセンターに提出してください。郵送の場合は書留速達郵便とし、封筒表面には「大学院入学試験出願書類在中」と赤字で記載してください。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。土曜日、日曜日は受付を行いません。

(3) 出願先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学アドミッションセンター

電話 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(4) 出願書類等

出願に必要な書類等		作成方法等	
①	入学志願票	[A票]	本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては、欄外に記載した「記入上の注意」をよく読んでください。
②	履歴票	[B票]	
③	受験票	[C票]	本学所定の様式に必要事項を記入してください。
④	写真票		本学所定の様式に必要事項を記入してください。上半身、無帽、正面向き、背景なしの出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真の裏面に氏名、生年月日を記入し、のり付けしてください。
⑤	入学検定料振込証明書貼付票		入学検定料30,000円を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用できません。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお、ゆうちょ銀行または郵便局を利用される場合は、通帳および印鑑(届印)が必要です。現金による振込はできません。また、本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。
			【海外に居住する志願者】 ※ 海外に居住する志願者は、入金方法が異なります。詳しくは出願前に「(3)出願先」にE-mailで問い合わせてください。 【支払手続問い合わせ期限】2024年12月4日(水)(日本時間) 支払手続後、本学への振込が完了するまでに日数(3営業日程度)かかりますので、 支払手続は2024年12月19日(木)までに完了 されることを推奨します。 【本学への振込完了期限】2024年12月24日(火)午後5時(日本時間) ※ 入学検定料についての提出書類はありません。
⑥	成績証明書		出身大学(学部)長等が作成したものを提出してください。

出願に必要な書類等		作成方法等
⑦	卒業（見込）証明書	<p>出身大学（学部）長等が作成したものを提出してください。 外国の大学等を修了した者で、卒業証明書と別個の学位証明書があれば、その原本（コピー不可）も併せて提出してください。⑥成績証明書に卒業（見込）年月日が記載されている場合は、学位証明書のみでも可とします。</p> <p>【中国の高等教育機関を卒業した者は以下の2点を提出してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書 ・中国高等教育学生信息网（https://www.chsi.com.cn/xlcx/）で卒業證書の認証を行い、認証画面を印刷したもの（教育部學歷證書電子注冊備案表）
⑧	学位授与申請見込証明書または学位授与証明書 【出願資格(1)②により出願する者のみ】	<ul style="list-style-type: none"> ・学位取得見込者：学士の学位授与申請見込証明書（出身高等専門学校長が発行したもの） ・学位取得者：学士の学位授与証明書（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの）
⑨	【一般入試のみ】 英語外部検定試験のスコア証明書	<p>2022年8月1日以降に実施された以下の①～④のうちいずれかの英語外部検定試験のスコアを証明する書類（点数および受験者氏名が記載されたもの）。複数の証明書を提出した場合換算得点が高いものを合否判定に利用します。</p> <p>【マークシート方式】 TOEIC デジタル公式認定証を印刷したもの1枚、または公式認定証（紙）の原本とそのコピー（原本は、受験票に同封して返却します。）</p> <p>【オンライン方式】 スコア表示画面を印刷したもの1枚</p> <p>① TOEIC[®]L&R テスト ② TOEIC[®]L&R IP テスト ③ TOEFL[®]iBT ④ IELTS</p> <p>※ オンライン方式を受験しスコアを提出する場合、監督者付きのスコアのみ認めます。監督者付きのスコアとは、オンライン試験中に試験監督者によるカメラ映像に基づく本人確認かつ監視を受けた試験によるスコアを意味します。</p>
⑩	【社会人特別入試のみ】 業務実績書	在職中に行った業務実績をA4判2枚程度にまとめてください。
⑪	返信用封筒	受験票送付用の定形封筒（長形3号、23.5 cm×12 cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、 110円分の切手を貼付 してください。

(注) 1 ①～⑤（[A票]～[C票]）の様式および入学検定料振込依頼書は、本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし、印刷して使用してください。

様式および入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は、本学アドミッションセンターに請求してください。

2 出願書類のうち、日本語または英語以外の外国語で書かれた証明書等には、日本語訳または英語訳を添付してください。

3 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。

4 出願書類の作成・提出に当たっては、自らの責任において、十分に考えたものを提出してください。

(5) 出願上の注意

- ① 必要な書類がすべて揃っていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、本学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ **一度受理した出願書類および入学検定料は、返還しません。**
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

(6) 入学検定料の返還

既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。ただし、返還する際に発生した各種手数料は、送金人（志願者）負担となる場合があります。

- ① 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に納入した場合または誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

【返還請求の方法】

①または②に該当した場合は、出願先に連絡してください。「検定料返還申請書」をE-mailで送付しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

③の場合は、出願書類等の返却の際に「検定料返還申請書」を同封しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

【申請期限】 2025年2月28日（金）午後5時必着

(7) 入学検定料の免除

「広島市内の者」で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は、これを免除します。事前に本学アドミッションセンターに相談し、期限までに申請してください。

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 2025年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 配偶者または1親等の親族が2025年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

【申請期限】 2024年11月27日（水）午後5時必着

4 2022年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害で被災した志願者への特例措置

上記の災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です）。また、合格者については、申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書および事実を証する書類を要します。詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。

5 受験上および修学上の配慮を希望する場合

障害のある等の理由で受験上および修学上の配慮を希望する場合は、2024年11月27日（水）までに本学アドミッションセンターにお申し出ください。申請書の様式をお送りしますので、2024年12月4日（水）までに申請書等を本学アドミッションセンターに提出してください。

（申請書の記載内容）

- ① 志願者の氏名、性別、住所、連絡先電話番号
- ② 入試区分、志望専攻等
- ③ 障害等の種類・程度（医師の診断書または障害者手帳（写）を添付してください。）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校での授業等における配慮事項
- ⑦ 日常生活の状況

※ 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要が生じた場合は、速やかに本学アドミッションセンターにお申し出のうえ、申請してください。申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできなかったりする場合には、希望する配慮が行えないこともあります。

※ 申請書に記載された個人情報は、受験上および修学上の配慮内容を検討するために利用します。なお、合格決定に利用することはありません。

6 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他）は、入学者選抜、合格通知、入学手続および調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行うために利用します。

また、入学者についての同情報は、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等）の業務を行うために利用します。

上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、外部の業者に委託する場合があります。

7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。

当日の詳細については受験票通知時にお知らせします。

(1) 一般入試

① 学力検査等実施日時

日 程	専 攻	試験科目	時 間
2025年2月14日(金)	全専攻	面 接	13:00 ~

※ 面接は面接者数名が質問する個人面接とします。

② 学力検査等の内容および評価基準

専 攻	試験科目	学力検査等の内容および評価基準
全専攻	外国語	出願時に提出された各英語外部検定試験のスコアにより評価します。
	面 接	大学院における研究・学修意欲および適性等を評価します。出願した専攻に関連する学部レベルの専門知識を問う口述試験およびこれまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション（※）を含みます。1人あたり25分程度で実施します。出願書類は、面接の参考とします。 【評価：ABCDの4段階】

（※）卒業研究（卒業研究を行っていない場合にはこれまで学んできたこと）および入学後に取り組みたいことを10分程度で話してください。プレゼンテーション用に作成したPowerPointや資料はZoomの「画面共有」機能を介して説明してください。

③ 合否判定

外国語の成績、面接の結果および出願書類を総合して行います。

(2) 社会人特別入試

① 学力検査等実施日時

日 程	専 攻	試験科目	時 間
2025年2月14日(金)	全専攻	面 接	13:00 ~

※ 面接は面接者数名が質問する個人面接とします。

② 学力検査等の内容

専 攻	試験科目	学 力 検 査 の 内 容 等
全専攻	面 接	業務実績および専門科目に関する事項を中心に行います。

③ 合否判定

面接の結果および出願書類を総合して行います。

(3) 受験上の注意

- ① Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。受験者側で Web 会議システム「Zoom」を利用できる機器（パソコン等）やネットワーク環境等の準備が必要になります。なお、オンライン面接の受験に係る費用（通信料等）は受験者ご自身の負担となります。また、不正防止の観点から、面接開始前または面接中に、周りの様子をカメラに映していただくことがあります。プライバシーに関わるものが映らないようご注意ください。スマートフォンを使用する場合は、面接に関係ない電話の着信や E-mail、通知の受信等で面接が中断されることのないよう設定等に十分注意してください。
- ② 受験者は、試験開始 30 分前までに受験票通知の際にお知らせした受験者控室（Zoom ミーティング）に入室してください。
- ③ 面接開始時刻に受験者控室（Zoom ミーティング）に不在であった場合は、欠席したものと取り扱います。
- ④ 当日は、本学の受験票を必ずお手元に携帯してください。
- ⑤ 面接の途中で退席することはできません。退席した場合は失格となります。
- ⑥ 試験当日にインターネットに接続ができない等のトラブルによって、Zoom ミーティングに参加できない場合は受験できない場合があります。
- ⑦ **その他受験者への連絡等が必要になった場合は、受験票通知の際にお知らせします。また、緊急で受験者に連絡する事項がある場合は、本学のウェブサイトに掲載します。**

8 注意事項

- ① なりすまし受験やカンニング行為（出題範囲に関する参考書やメモ等を持ち込むこと、Web ブラウザ（Google Chrome, Firefox 等）や SNS（LINE, X 等）で出題範囲や試験に関する内容を閲覧することを含む）および他の受験者への協力的行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、Web 会議システム使用中の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効にすることがあります。また、入学後であっても、入学を取り消すことがあります。なお、その場合出願書類、入学検定料および入学料は返還しません。
- ② 視線が頻繁に動く場合は、カンニング行為等の不正行為をしていないか確認することがあります。
- ③ 事前に接続テスト（下記「9 受験環境の準備」参照）を必ず行ってください。

9 受験環境の準備

受験者は以下の事前準備をしてください。

- ① 第三者が入室しない明るく静かな個室（ゼミ室や自宅、レンタルスペース等）
- ② 動画を送受信できる安定したネット環境
- ③ インターネットに接続が可能なパソコンなど（ウェブカメラ、マイク、スピーカーなどが利用可能で、プレゼンテーションができること）
- ④ ③の予備
- ⑤ 事前に、Zoom アプリを当日使用する機器にインストールし、接続テストを行うこと（予備の機器含む）

- ・Zoom アプリインストール (<https://www.zoom.us/download>) ※無料版可。アカウントの作成不要。
- ・Zoom ミーティングのテスト (<https://zoom.us/test>)
- ・Zoom ヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>)

①または②が準備できないため、本学に来学して特別受験室での受験を希望する場合は以下のとおりアドミッションセンターへ申請してください。

【申請事項】 広島市立大学に来学して特別受験室で受験を希望する受験者

E-mail タイトル：情報科学研究科入試（広島市立大学での受験を希望）

内 容：① 氏名

② 志望専攻

③ 当日の機器の持ち込みについて

（例：パソコン、スマートフォン、タブレットなど）

④ 特別受験室で受験を希望する理由

（例：ネット環境が安定しないため。）

※ 広島市立大学の特別受験室で受験の場合もオンライン方式での受験となります。

※ 申請締切後はいかなる理由があっても受け付けませんので受験者自身で受験環境を整えてください。

また、申請者数によっては対応できない場合もありますのでご了承ください。

〔申請期限〕 2024年12月24日（火）

10 合格者発表

2025年2月26日（水）午前10時

合格者に合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイトでも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

Ⅱ 入学手続, 納付金等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

2025年3月3日(月)から3月15日(土)午後5時まで(必着)

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類等は, 合格通知書と併せて直接本人に送付します。
- ② 入学手続書類は必ず**書留速達郵便**とし, 封筒表面に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ, **入学手続期間内に必着**するよう郵送してください。
- ③ 入学手続期間最終日の3月15日(土)のみ持参による提出を受け付けます。受付場所は本学アドミッションセンターです。受付時間は, 午前9時から午後5時までです。
- ④ 入学手続を完了した者には, 入学手続期間終了後, 入学許可書を送付します。

(3) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を行わなかった者については, 入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので, 書類の提出の際には, 十分確認してください。
- ③ 一度受理した**入学手続書類および入学料は返還しません。**
- ④ **卒業(修了)見込みで出願して合格した者は, 卒業後, 速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。**入学日前日までに**卒業(修了)**できなかった場合は, **入学を取り消します。**

2 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

区 分	金 額	
入 学 料	広島市内の者(注)	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

(注) 「広島市内の者」とは, 次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 2025年4月1日時点で, 継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 配偶者または1親等の親族が2025年4月1日時点で, 継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

(2) 3月末までに納付するもの

区 分	金 額
後援会費(注)	20,000 円

(注) 後援会費には, 学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。詳細は入学手続時に案内します。

(3) 入学後に納付するもの

区 分	金 額	納付時期
授業料(年額535,800円)(注)	267,900 円	4月末まで
	267,900 円	10月末まで

(注) 1 授業料は, 2024年4月現在の金額です。改定を行った場合には, 改定時から新授業料を適用します。

- 2 「長期履修学生」の授業料(年額)は, 修業年限に相当する授業料の総額を, 長期履修期間の年数で除して得た額になります(「長期履修学生」については2ページを参照)。

(4) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア 入学前1年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合

イ 入学前1年以内に、入学する者または学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が「広島市内の者」であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免または徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

Ⅲ 講座，研究テーマ及び教員

専攻	講座	研究テーマ	教員
情報工学専攻	コンピューティング	ストカスティックコンピューティング	教授 市原 英行
		ディペンダブルコンピューティング	教授 井上 智生
		論理設計とスイッチング回路理論	教授 永山 忍
		リコンフィギャラブルシステムの設計と応用	教授 弘中 哲夫
		プログラミング言語処理系とソフトウェア開発環境	准教授 川端 英之
		量子コンピューティングの理論と応用	准教授 LUKAC Martin
		レイアウト設計と回路マッピング	講師 稲木 雅人
		リコンフィギャラブルコンピューティング	講師 谷川 一哉
	コミュニケーション	情報ネットワークの基盤技術とそのシステムの高度化・高信頼化	教授 石田 賢治**
		大規模複雑ネットワークの分析と制御	教授 高野 知佐
		暗号アルゴリズム設計およびセキュリティシステム構築	准教授 稲村 勝樹
		無線ネットワーク制御の設計・高度化	准教授 小畑 博靖
		安全な分散コンピューティング	准教授 上土井陽子
	センシング	ネットワークソフトウェアの設計と評価	教授 大田 知行
		ワイヤレスネットワークと電波センシングシステム	教授 西 正博
		高信頼な無線通信方式と電波測位方式	准教授 高橋 賢
		3D原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用	准教授 八方 直久
		効率的な情報交換のためのネットワークアプリケーション技術	准教授 舟阪 淳一
		ワイヤレス通信に関わる電波伝搬および電磁環境の評価	講師 新 浩一
		無線ネットワークと電波応用システム	講師 小林 真
		気体イオン検出におけるイオン光学シミュレーション	講師 藤原 真

専攻	講座	研究テーマ	教員
知能工学専攻	データ科学	グラフ構造データに対する機械学習法とデータマイニングへの応用	教授 内田 智之
		正標数の代数的閉体において定義された代数多様体	教授 齋藤 夏雄
		非構造化データからの知識発見とその工学的応用	教授 田村 慶一
		多次元データベースとその応用	准教授 黒木 進
		数理システムと空間配置の幾何学	准教授 関根 光弘
		知識発見における機械学習手法とグラフ理論の応用	准教授 宮原 哲浩**
		多変量統計解析と漸近理論	講師 佐藤 倫治
		機械学習を用いたグラフ構造化データからの知識発見とその応用	講師 鈴木 祐介
	人間情報学	進化的計算や群知能などの計算知能アルゴリズムを利用した最適化	教授 高濱 徹行*
		進化計算に基づくプログラムの自動生成や感性情報の最適化	教授 原 章
		VR/ARを用いた学習支援システム及び感性工学の研究	教授 松原 行宏
		教育・学習システムにおける知識表現モデルと知識獲得	准教授 岩根 典之*
		知的検索インターフェースと実社会データへの応用	准教授 梶山 朋子
		計算知能システムに関するモデリングと実データへの応用	准教授 鎌田 真
		学習分析・教育データマイニングにおける教育・学習支援	准教授 毛利 考佑
		AR/VRを用いた学習支援手法およびシステム実装に関する研究	講師 岡本 勝
	知能情報学	音声言語情報処理と自然言語処理	教授 竹澤 寿幸
		情報理論と情報統計力学	教授 三村 和史
		学習機械の確率的特性解析	准教授 岩田 一貴
		数理モデルによるヒト行動モデリング及びデータサイエンス	准教授 下川 文明
		物理現象の解析にもとづくコンピュータビジョン技術	准教授 宮崎 大輔
感情情報処理とマルチモーダルインタラクションシステム		准教授 目良 和也	
高精細コンピュータグラフィックス		講師 馬場 雅志	

専攻	講座	研究テーマ	教員
システム工学専攻	数理システムデザイン	確率過程を基礎とした最適制御理論	教授 田中 輝雄
		組込みシステムの形式的検証及び設計最適化	教授 中田 明夫
		関数近似と変数変換の開発・改善とその応用	准教授 岡山 友昭
		量子情報における数理構造とその応用	准教授 桑田 精一
		軽量認証とその応用を始めとした情報セキュリティ	准教授 双紙 正和
		代数多様体の分類理論, 特異点理論	准教授 廣門 正行
		テラヘルツ波領域のナノ量子デバイスシステムの数値設計, 電磁波の位相差を利用した空間対称量子システムのパリティ分離検出	准教授 福島 勝**
		進化アルゴリズムと組合せ最適化	准教授 村田 佳洋
	人間・ロボット共生	介護支援ロボット用インタフェース, Air Jetによる非接触物体操作	教授 岩城 敏*
		救急車の自動運転と傷病者搬送支援に関する研究	教授 小野 貴彦
		インテリジェント制御システムの設計	教授 小寄 貴弘
		人間-ロボット間の相互作用, 人間と協調する自動運転	准教授 池田 徹志
		バーチャルリアリティおよび複合現実型実応用	准教授 脇田 航
	インタフェースデザイン	サウンドデザインとその評価, 適応音響制御, 心理音響	教授 石光 俊介
		コンピュータビジョン, 車椅子ロボットおよびマン・マシン・インタフェース	教授 李 仕剛
		マルチエージェントシステムとその応用に関する研究	准教授 神尾 武司
		分散システムのためのソフトウェア技術	准教授 島 和之
		音響認識システム, 非定常音を対象としたブラインド音源分離	准教授 中山 仁史

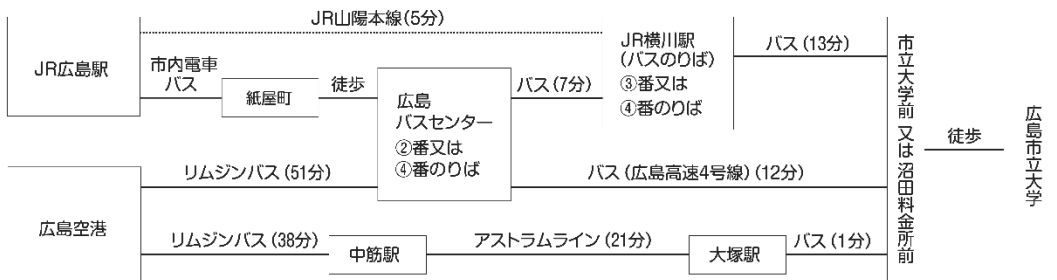
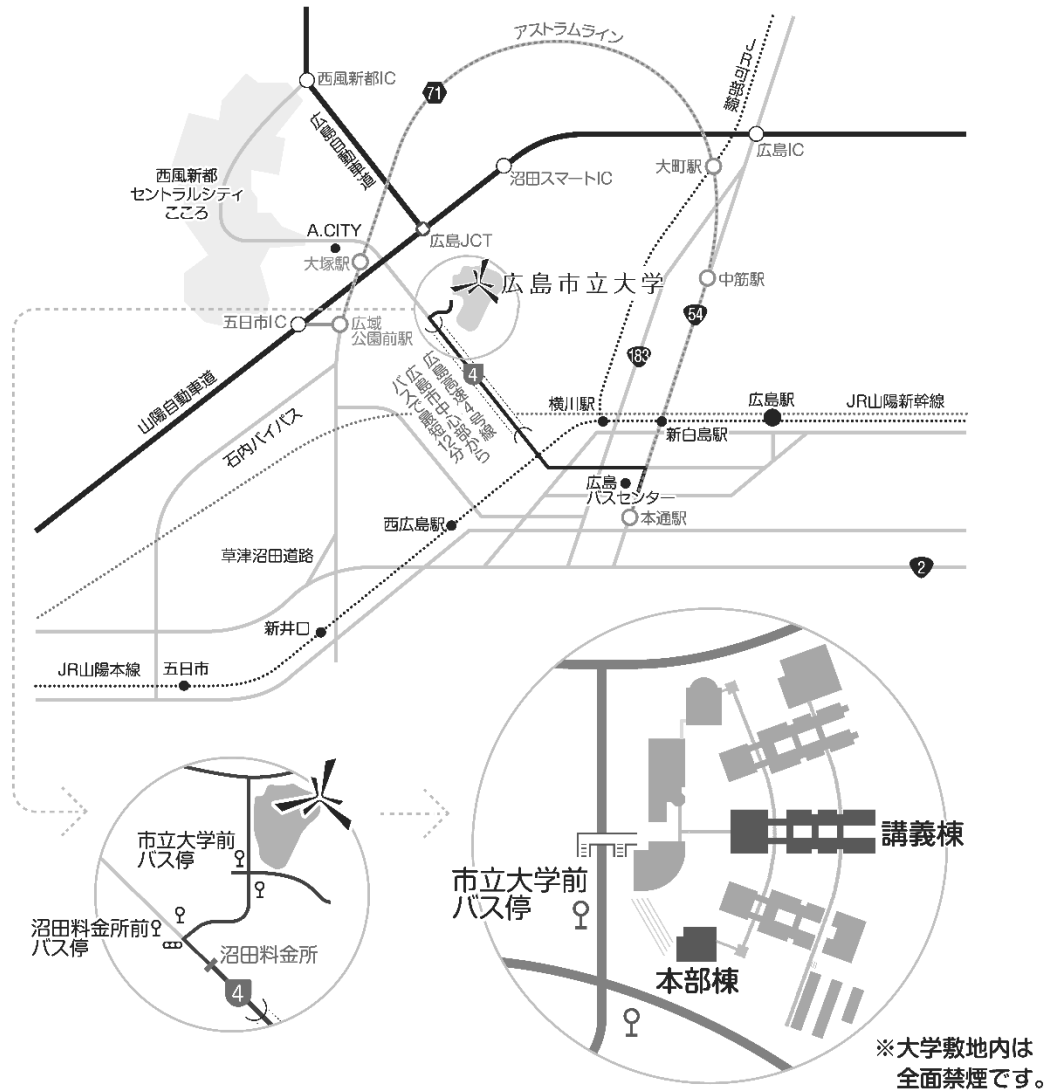
専攻	講座	研究テーマ	教員
医用情報科学専攻	医用情報科学	計算機実験による生命現象の物理化学的原理の解明と応用	教授 鷹野 優
		定量的な画像バイオマーカーの標準化に関する研究	教授 松本 圭一
		MEMS 技術を用いたマイクロ医用デバイスシステムの開発	教授 式田 光宏
		高精度で脳機能ダイナミクスを読み取る非侵襲ブレインマシンインタフェース	教授 樋脇 治
		情報通信技術の医療・ヘルスケアアプリケーションへの応用	教授 田中 宏和
		視覚情報処理機構の解明とその情報工学への応用	准教授 中野 靖久**
		病気の診断に用いるバイオセンサーの開発	准教授 釘宮 章光
		計算機を用いた生体触媒の活性と構造の相関の解明	准教授 齋藤 徹
		計算機による医用画像理解, およびその診断支援・治療支援への応用	准教授 青山 正人
		新しいバイオメディカルイメージング手法およびそのデータ処理・解析法の開発	准教授 藤原 久志
		マイクロマシニング技術によるセンサ開発とその医療応用	准教授 長谷川義大
		ヒトの認知・運動機能の計測・解析に関する研究開発	准教授 福田 浩士
		生体信号の計測・解析による脳機能解明	准教授 常盤 達司
		発光ダイオード (LED) の生物, 化学, 農業への応用に関する研究	講師 香田 次郎
		ウェアラブルセンサシステムと生体信号処理	講師 伊藤 孝弘
		MEMS・集積マイクロシステムとその医用応用	講師 AL FARISI Muhammad Salman

(注) 1 : 担当教員及び講座, 研究テーマは 2024 年 4 月 1 日のものです。

2 : *の教員は 2025 年 3 月末で退職予定ですので, 志望にあたり留意してください。

3 : **の教員は 2026 年 3 月末で退職予定ですので, 志望にあたり留意してください。

IV 広島市立大学案内図



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

- 所要時間は目安です。
- 広島バスセンター発「くすの木台」方面行きバスは、「市立大学前」バス停を経由します。
- 広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南中央」方面行きバスには、「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。